

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第4区分
 【発行日】平成17年4月7日(2005.4.7)

【公開番号】特開2002-186219(P2002-186219A)

【公開日】平成14年6月28日(2002.6.28)

【出願番号】特願2000-379431(P2000-379431)

【国際特許分類第7版】

H 02 K 7/10

D 06 F 39/08

H 02 K 7/11

H 02 K 7/116

【F I】

H 02 K 7/10 C

D 06 F 39/08 3 1 1 F

H 02 K 7/11

H 02 K 7/116

【手続補正書】

【提出日】平成16年5月27日(2004.5.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0053

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0053】

なお、上述の実施の形態は、本発明の好適な実施の形態の例であるが、これに限定されるものではなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲において、種々変形実施可能である。例えば、上述したように本実施の形態では、ロータマグネット11bの内周面にリング状マグネット11cを直接的に接着固定し、リング状マグネット11cのさらに径方向内側に非磁性導電リング16aを配置する構成とした。しかし、図6に示すように、リング状マグネット11cをロータマグネット11bから径方向内側に離間させて配置するようにし、この離間部分(図6中のG部分参照)に非磁性導電リング16aを配置するようにしても良い。このようにすると、両マグネット11b、11cが離れているため、互いに磁力が影響し合わないものとなる。したがって、磁力の影響を考慮しての位置決めの必要も無くなる。